

平成29年度予算見積調書

課室名：情報システム課

担当名：企画・研修担当

内線：2280

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B14	オープンデータ化推進事業費			一般会計	総務費	企画費	企画調整費	情報政策推進費	
事業期間	平成26年度～	根拠法令	なし				挑戦項目 分野施策	061352 ICTを活用した県民の利便性の向上	
1 事業の概要 行政情報における県民等のニーズを把握するとともに庁内で保有している行政情報のオープンデータ化を推進する。また、公開場所の一元化や様式の統一等を実施することで、新たな価値を創造し、地域経済の活性化や県民生活の利便性の向上を図る。 本事業では、効果的で効率的なオープンデータ化の推進を実現するために、データカタログ(一元化システム)を運用し、効果的なデータ活用を促進していく。 (1) データカタログの運用 (2) 効果的なデータ活用の促進				5 事業説明 (1) 事業内容 ア データカタログの運用 データ一覧表示機能、検索機能などの利便性を考慮したデータカタログを運用するとともに、セキュリティパッチの適用や、県民ニーズに対応したシステム改修等を実施する。 イ 効果的なデータ活用の促進 個々のデータについて、二次加工しやすいデータ形式への変換支援やWebAPI等のツールの作成支援を委託する。 (2) 事業計画 ア 平成27年度：設計開発、システム稼働及び効果的なデータ活用の促進 ・データカタログの構築及びシステムを運用する イ 平成28年度：システム運用及び効果的なデータ活用の促進 ・データカタログの運用、システムの利便性の向上に対応する ・オープンデータ化による新たな価値の創造の検討を行う ウ 平成29年度：システム運用及びデータ活用事例の開拓 ・データカタログの運用、システムの利便性の向上に対応する ・LOD化推進及びデータ変換等の支援を行う ・活用事例の開拓を行う (3) 事業効果 ア 県が保有している多様で膨大な情報を二次利用しやすい電子データの形式で積極的に公開することは、地域経済の活性化や県民生活の利便性向上につながる。 (4) 県民・民間活力、県職員のマンパワー、他団体との連携状況 ア 県内市町村が保有するデータを取り込み公開場所の一元化を図る。 イ 民間データとの組み合わせにより新たな価値を創造する。 (5) その他 ア データカタログの運用等の実施に伴う委託料の増加					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500円×1.0人=9,500千円									
				財 源 内 訳					
予算額								一般財源	前年との 対比
決定額	6,058							6,058	562
前年額	5,496							5,496	